

激動する世界情勢の中での中国ビジネス環境を徹底解説  
 ～現地法人・本社管理部門に求められる基礎知識～

# 第34回 中国ビジネス実務セミナー

開催日時：2022年10月6日(木)・7(金)

日本時間 10:00～16:30 中国時間 09:00～15:30

形式：オンライン（Zoom / Microsoft Teams）

## ■ 開催日時

2022年 10月6(木)・7日(金)  
 10:00～16:30（日本時間）

## ■ 主催・協力

主催：日中投資促進機構  
 協力：関係企業・団体に依頼

## ■ お申込み

申込URL：<https://bit.ly/3Sn6Ejn>  
 申込期間：2022年10月2日(日)締切



## ■ お問い合わせ

日中投資促進機構事務局  
 E-mail：[seminar1@jcipo.org](mailto:seminar1@jcipo.org)  
 TEL：03-5545-3118 FAX：03-5545-3120  
 （担当：中村・佐野）

## ■ 注意事項

参加費：当機構会員 3,000円/非会員 5,000円（1コマ）  
 ※複数コマ受講の方は割引がございます。  
 詳細は申込URLよりご確認ください。  
 形式：オンライン（Zoom/Microsoft Teams）  
 ※システムに関わるご質問はお受けしかねますのでご注意ください。

## ■ プログラム

	2022年10月6日(木)	2022年10月7日(金)
1 限 10:00   11:30	基調講演 最新の国際情勢 ～政治・経済・日中連 携の在り方を探る～ (仮) 宮本アジア研究所 代表 宮本 雄二 氏	リスクマネジメント 中国事業の持続的な 成長に向けた リスクマネジメント (仮) 有限責任監査法人トーマツ 包括代表 大久保 孝一 氏 デロイト中国 パートナー 高津 秀光 氏
	法務 中国ビジネス法の全貌 (仮) アンダーソン・毛利・ 友常法律事務所 パートナー弁護士 射手矢 好雄 氏	人事・労務 『労働契約法』の理解 と労務トラブルへの 実務対応のポイント (仮) 上海華鐘投資 コンサルティング有限公司 総経理 能瀬 徹 氏
2 限 13:00   14:30	国際情勢 深まる米中対立の 行方と世界 (仮) 日本経済新聞社 コメンテーター 秋田 浩之 氏	マーケティング 新消費- デジタルが 実現する新時代の 価値創造(仮) 電通マーケティング・ホールディング・ジャパン Group Account Director 藤井 直毅 氏
3 限 15:00   16:30		



**宮本アジア研究所 代表 宮本 雄二 氏**

1969年外務省入省。以降3度にわたりアジア局中国課に籍を置くとともに、北京の在中華人民共和国日本国大使館駐在は3回を数える。90年から91年には中国課長を、2006年から10年まで特命全権大使を務める。このほか、85年から87年には軍縮課長、94年にはアトランタ総領事、01年には軍備管理・科学審議官、02年には駐ミャンマー特命全権大使、04年には沖縄担当大使を歴任。現在は宮本アジア研究所代表、日中友好会館会長代行、日本日中関係学会会長、一般財団法人日本アジア共同体文化協力機構理事長。著書に「これから、中国とどう付き合うか」(日本経済新聞出版社)、「激変ミャンマーを読み解く」(東京書籍)、「習近平の中国」(新潮新書)、「強硬外交を反省する中国」(PHP新書)、「日中関係の失敗の本質」(中公新書)。

**アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士 射手矢 好雄 氏**

京都大学法学部、ハーバード大学ロースクール卒業。1983年弁護士登録。一橋大学法科大学院特任教授。中国国際経済貿易仲裁委員会(CIETAC)仲裁人。日中経済協会監事。日本交渉学会会長。2021年よりアンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー。主な業務分野は、中国ビジネス、国際投資(企業買収)、国際仲裁。日本経済新聞「企業が選ぶ弁護士ランキング」国際部門1位(2010年、14年、17年等多数)、Chambers Global、Best Lawyersなど受賞実績多数。『中国ビジネス法大全』(時事通信社、2022年)など中国ビジネスの著書多数



**日本経済新聞社 コメンテーター 秋田 浩之 氏**

国内外の外交、安全保障問題のエキスパート。北京(94~98年)、ワシントン(02~06年)に駐在、政治部では首相官邸、外務省、自民党を担当。現在、定期論評コラムを担当。頻りに国際会議に参加し、海外の人脉も豊富。16年秋には英フィナンシャル・タイムズ紙の論説委員会に勤務し、社説を執筆。著書に「暗流 米中日外交三国志」(08年)、「乱流 米中日安全保障三国志」(16年)。国際情勢の分析、論評コラムなどで18年度ポーン・上田記念国際記者賞。

**有限責任監査法人トーマツ 包括代表 大久保 孝一 氏**

1991年監査法人トーマツ入社、2013年からの3年間、デロイト中国 日系企業サービスグループ 地域リーダー(上海駐在)、有限責任監査法人トーマツ 評議員 兼 デロイト トーマツ グループ 評議員等を経て、2022年6月有限責任監査法人トーマツ 包括代表 兼 監査・保証事業本部長に就任。日本公認会計士。



**デロイト中国 パートナー 高津 秀光 氏**

コンサルティング会社を経て、2006年に監査法人トーマツ入社。リスクアドバイザリー事業本部にて、大手製造業等を中心に、グループガバナンスやリスクマネジメントの構築、組織再編に伴う業務標準化等の多数のアドバイザリー案件をリード。2021年より日系企業サービスグループ リスクアドバイザリーリーダーとして上海駐在中。

**上海華鐘投資コンサルティング有限公司 総経理 能瀬 徹 氏**

1969年岡山市生まれ。1992年大阪外国語大学(現大阪大学)中国語科卒業後、三井住友銀行(当時の住友銀行)入行。日中投資促進機構への2年半の出向、中国室(大阪)での4年間の勤務後、2001年5月天津支店赴任。渉外課長を経て、2003年6月に銀行退職。2004年2月、上海華鐘コンサルタントサービス(株)入社し、2020年10月より現職。本実務セミナーでは17回の講師歴有り、「日中経協ジャーナル」(中国ビジネスQ&A)等への現地実務解説記事の寄稿多数。



**電通マテリアル・ボウイン・ヤケ Group Account Director 藤井 直毅 氏**

早稲田大学在学中から欧米系PR会社に勤務。投資ファンドから消費財まで幅広いクライアントに対する広報コンサルティングを中心としたコミュニケーション&マーケティング支援に携わる。クラシック音楽事務所にて海外市場を含む新ビジネス開拓、ファンドレイズなどに携わったのち広告業界へ。PRとデジタルを出発点としながらマス広告や事業開発の経験も持つ統合型のメーカー/プランナーとして、メディアや人々のインサイトを捉えた「拡がる」キャンペーン・ビジネスを様々な立場で仕掛けてきた。特に日本からのアウトバウンドマーケティングや新規事業開発など既存の知識や経験をそのまま展開できない分野に強みを発揮する。近年は中国現地でのマーケティング支援に注力しており、21年より2度目の中国生活として北京に居を移す。「日経ビジネス」電子版、「東洋経済オンライン」などに寄稿多数。